

平成 25 年（2013 年） 2 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 3 日 目 ）

平成 25 年 3 月 1 日（金）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	下 地 敏 男 (社 社 連 合) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 市民課窓口 外部委託事業 について 2 市民の健康 づくりについ て 3 道路管理行 政について 4 消防行政に ついて	市民課窓口業務は、市民の多様なニーズに的確 にこたえ、質の高い公共サービスが求められる 以下質問する (1) 委託職員の研修期間の業務に問題はなか ったか (2) 外部委託による市民からの苦情等問題発 生はなかったか 中核市移行後、生活習慣病等市民の健康維持対 策はどうなっているか伺う 市民が快適な生活を過ごすために道路管理は きわめて重要である 以下質問する (1) 現業職員が道路管理行政の公共サービス に迅速に対応するため、どのようなことが行 われているのか伺う (2) 市民から陳情のある私道についても緊急 補修の必要な現場は直営で対応しているか 市民の安全な暮らしを守るには消防力の強化 が急務であると同時に消防隊員の勤務時間の改 善も重要である。去る 12 月定例会において消防 職員の定数を 346 名に設定した。条例定数の上 では増員になっているが、増員計画はどのよう になっているか。また、教育委員会跡地に建設予 定の消防出張所の人員計画はどのようになっ ているか答弁を求める

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 職員再任用 について	再任用について、地方公務員法が平成 11 年改正され、今定例会に提案されている「那覇市職員の再任用に関する条例制定について」以下伺う (1) 職員再任用の目的は何か (2) 実施までに 10 年以上かかっている理由とその間の経緯について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（3日目） 平成25年3月1日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	安慶田 光 男 (自民・無所属 ・改革の会)	1 NAHAマ ラソンについ て	(1) 第28回NAHAマラソンから日本陸上競 技連盟の「公認競技会」となった効果はど うか伺う (2) NAHAマラソンへの参加定員制限を第 30回大会を目途に改めるとのことだが、そ の後の経過はどうなっているか (3) スタート時のロスタイムは第30回大会ま でに制限時間を15分延ばし、6時間30分 にするとのことだが、その進捗状況はどうか 伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 消防行政に ついて	(1) 消防力整備指針による職員数(456人)を 去る12月定例会において条例定数(275人) が346人に改められたが、その根拠は何か 条例改定後でも整備指針による職員定数 と条例定数には大差があり今後どうするの か、答弁を求める (2) 消防力整備指針によると30万人都市の消 防署数は10カ所と定められているが、現在 は8カ所ある。今後の計画はどうなってい るのか伺う (3) 出動から6分30秒以内での未到達地域問 題について、先刻の定例会で指摘したとこ ろでもあるが、再度問う (4) 当局は未到達地域の1部を浦添や豊見城 消防等との協力を得て、未到達地域の解消 に努力しているが、それでもなお、未到達 地域が残る。その対策はどうするのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	比 嘉 瑞 己 (日本共産党)	1 教育行政について	(1) 学校の序列化や統廃合にもつながる小中一貫教育は導入すべきではない。このほど神原中学校区における小中一貫教育モデル校研究発表があった。導入の目的であった「学力の向上」の成果はあったか。また、「不登校」「いじめ」「暴力件数」は減少したのか。小中一貫教育の問題点を問う (2) 教師がひとり一人の子どもたちと向き合う環境をつくるのが、学力向上やいじめ問題に役立つ。教師多忙化解消のための市費事務職員の復活。那覇市独自の少人数学級の実現のための市費負担教員の採用を求める。見解を問う (3) 部活動は学校教育活動の一環として重要である。「児童・生徒の県外派遣旅費補助金」について、島嶼県である沖縄県の特殊事情に鑑み、一括交付金を活用して事業の拡充をするべきである。当局の見解を問う (4) 多くの児童・生徒が部活動に参加できるように、就学援助の項目にクラブ活動費を追加すべきである。当局の見解を問う
	質問方式 総括質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 那覇市民会館について	本土復帰を控えた 1970 年、那覇市民会館は県内唯一の本格的な文化施設として、全県に先駆けて建設された。市の中心部にある与儀公園の隣に位置し交通の便も良く、立地条件として恵まれた環境にある。真和志地域に建設された歴史的背景を問う 那覇市の文化芸術拠点となる市民会館の基本構想に当たっては、市長の一存だけで決めることはできないはずである。場所や方法を含めて、幅広い市民との協働で基本構想をまとめるべきである。当局の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 高齢者の生きがいつくりについて	高齢者の健康づくりや介護予防にも役立っている「地域ふれあいデイサービス」の意義と実績について問う。未実施地域への開設支援、男性の参加促進を行うべきである。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	桑 江 豊 (公 明 党)	1 建設管理行政について	バス停上屋整備事業について以下伺う (1) 道路管理者がバス停上屋を整備できるようになった経緯 (2) 市内バス停の数及び上屋設置数、そのうち市道のバス停数及び上屋設置数 (3) 平成24年度及び平成25年度事業概要
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 環境行政について	「U字型ごみ袋」導入へ向けての進捗について以下伺う (1) 県内自治体導入の状況 (2) 導入に対する課題 (3) 導入の方向性
		3 総務行政について	「市民便利帳」について タウンページとの合冊版導入へ向けての進捗を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 久茂地小学校・前島小学校の統廃合問題の撤回を求めることについて 2 神原児童クラブの専用施設を求めることについて 3 真和志中学校の温水プール機能の存続を求めることについて 4 性暴力ワンストップ支援センターの設置について 5 壺屋のまちづくりについて	久茂地小学校と前島小学校の統廃合計画は、地域住民や当事者である子どもたちの「学校を残してほしい」との願いを無視し、強行している。住民の合意のない学校統廃合計画は撤回すべきである。見解を問う 神原小学校内で活動している神原児童クラブが使用している校舎が、老朽化のために来年度に取り壊しが計画されている。児童クラブは、子どもたちの安全のためにも学校内での設置が望まれており、引き続き学校内で活動できるように、市が責任を持って場所の確保や環境整備を行うべきである。今後の計画を問う 市内の小中学校において、温水機能を持つプールは、真和志中学校だけとなっている。温水機能があることで年間を通しての練習が可能であり、これまでも生徒の泳力向上と競技力向上に大きな役割を果たしてきた。現在、建て替え案を検討している中、現場の先生方や子どもたちからは、温水機能は残してほしいと強く求められている。那覇市は温水プールにすべきであるが、どうなっているのかを問う 性暴力被害者の相談から治療など必要な支援を1カ所で行う「ワンストップ支援センター」の設置で被害者の視点に立った 365 日 24 時間いつでも対応できる体制などが必要であり、求められている。那覇市としても、那覇市立病院、なは女性センター、福祉相談室、母子生活支援センターさくらなどの連携や、設置運営の支援をすべきである。見解を問う 壺屋地域は、やちむん通りを中心に那覇市景観形成地域となっており、緑、水、伝統文化が薫るまちなかのオアシスとして、地域整備計画を策定

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			中である。やちむん通り、すーじぐわー、壺屋焼など、地域の伝統文化と景観を守るために市の補助制度は赤瓦設置の際の費用補助がある。しかし、これで十分とはいえない。景観を守るためにも樹木や塀、道の保存に対する補助制度を設置すべきである。今後の計画と見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	清 水 磨 男 (民 主 党)	1 子育て行政について	認可保育園への入園について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 サッカー場について	(1) ホームタウン宣言について伺う (2) これからの那覇市の芝生管理について伺う
		3 行政の連携について	(1) 平成25年度の離島連携事業について伺う (2) 米軍問題などが混迷を極める中で、これから予定される名護市長選挙、沖縄県知事選挙に対する市長のスタンスを伺う
		4 デザインと行政について	(1) 広報紙「広報なは市民の友」や市内の住居表示など、デザインを生かせる分野での那覇市としての活用を伺う (2) デザイン性なども活用しての、バリアフリーの拡大について伺う
		5 再開発について	モノレール旭橋駅周辺地区の再開発事業中、北地区への取り組みについて伺う
		6 レインボー行政について	セクシャルマイノリティに対する那覇市の対応状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 平成25年3月1日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	平 良 識 子 (社 社 連 合)	1 保育行政について	(1) 保育所及び保育園の防災体制について、以下伺う ① 海拔25メートル以下、海拔10メートル以下に所在する保育所・保育園は何か所あるのか ② 災害が起こった際、避難と保護者との連絡体制はどのような計画となっているのか ③ 災害時の園児の安全確保へ、「園児ココ」という簡易連絡システムの導入を提案するが、見解を伺う (2) 待機児童の解消について、以下伺う ① 現在待機児童数と来年度予測及び対応策について ② 希望する保育園に入所できず、一世帯で複数に通園させている世帯はどれくらいあるのか
		2 住宅リフォーム支援事業の創設について	まちなか居住の推進、高齢者、子育て世帯等への良好な住環境整備の支援、また市内中小企業への経済政策の観点からも、住宅リフォーム支援事業の創設を提案する費用対効果の予測も含め、見解を伺う
		3 健康福祉行政について	乳がん検診において、現在30歳から39歳までが視触診、40歳以上でマンモグラフィーまたはエコーが視触診と併用で実施されているが、マンモグラフィー検診の対象年齢を拡大すべきではないか、見解を伺う

質問方式

総括質問方式
(演壇・質問席)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 下水道未整備地域について	首里崎山ハイツにおける下水道未整備地域では、汚水が側溝を流れ、周辺住民は悪臭に長年苦しんでいる。未整備は何件か 早急に対応してほしいが、見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 離島連携事業について	(1) 去る 22 日に今年度分の追加募集が締め切られたが、最終的な応募実績と決算見込み額を伺う (2) 新年度から、久米島町が対象離島に追加されるが、航空機の使用を含めた助成方法について伺う
	質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	2 保育行政について	(1) 多子世帯の保育の状況について ① 同一世帯から 2 人以上の児童が同じ保育園に入所している状況 ② 同一世帯の児童が別々の保育園に入所している状況 ③ 同一世帯の児童のうち、待機状態の児童の数 (2) 市のホームページにおける保護者への情報提供について ① 待機児童数の園別・年齢別一覧の掲載 ② 本市の認可外保育施設の一覧の掲載
		3 住宅政策について	(1) 那覇市民間住宅耐震化促進事業について 平成 25 年度は前年度の 284 万円から約 2,500 万円に予算が拡大されている。24 年度の実績と新年度に向けた取り組みを伺う (2) 民間アパートにおける手すり設置などのバリアフリー化に対する助成事業を実施することについて、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	瀬 長 清 (自 民 党 新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 消防行政について 2 税務行政について 3 環境行政について	那覇市の消防署の適正配置計画の中で小禄出張所の整備については、平成 32 年度以降整備と位置づけられ、これに対し小禄の住民から、小禄出張所の整備を前倒して、早期整備してほしいと強い要望が寄せられているが、当局の対応を伺う 小禄地域の軍用地に対する固定資産税の課税状況について 那覇市内の軍用地の固定資産税については、平成 18 年度に不動産鑑定評価に基づく評価の見直しを行って以来、平成 24 年度で 3 度目の評価替えになったわけであるが、小禄地域内に軍用地を所有する納税者の税負担はどうなっているのか伺う 小中学校、市営住宅等の公共施設への民間活力による太陽光発電の整備について 福島第一原発事故による災害を受け、原子力にかわる代替エネルギーとして、現在全国の自治体では、小中学校や市営住宅等の屋上を、民間に貸し付け民間活力を活用した太陽光発電の取り組みが進められている。 このことについて、当局の所見を求める (1) 那覇市の小中学校、市営住宅等の公共施設への太陽光発電の整備状況を伺う (2) 民間企業の活力や活用を積極的に利用して太陽光発電の設置に取り組んでいく必要があると思うが、当局の所見を求める

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育行政について	いじめ問題への対応について 大津市の中学2年男子自殺問題などが大きく社会的問題となったいじめを未然に防止する観点から、他府県では、いじめへの対処策を示した「いのちの生徒手帳」等をつくり、子どもたちへの指導、啓発活動がなされているが、那覇市における取り組み状況について当局の所見を求める (1) 那覇市は子どもたちのいじめ、嫌がらせの被害を未然に防止するため、これまでどのような対策をしたか伺う (2) 他府県で実施している「いのちの生徒手帳」等をどのように生徒は活用しているか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 3 月 1 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 防災行政について	(1) 市税条例の改定で、2014 年度から 500 円の増税になる。防災予算の財源に充てるということだが、どのように活用するのか (2) 避難場所である小中学校に緊急用の自家発電設備の設置状況を問う (3) 災害時の拠点病院である那覇市立病院の自家発電設備の能力はどの程度か
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 公民館・図書館行政について	市長が公約した、国場・仲井真地域の公民館図書館建設は、地域が長年要求し続けたことで、大変喜ばれるものである 基本構想の策定は、地元の代表も入れた協議会等を立ち上げるべきではないか
		3 道路行政について	(1) 歴史散歩道整備事業の「しんかぬちゃーまーい道路」の整備計画を問う (2) 本来なら、首里金城町の石畳道の延長である、市道松城中学校東側線も、国王が識名園に通った歴史的な道として、整備すべきではないか (3) 市道真地 7 号の急勾配の坂道の滑り止め舗装が、かなり傷んでいる。早期に改修してほしいとの声があるが対応を問う (4) 長田 2 丁目 3－17 付近の市道が交差する地点は、住民と大学生が多く、交通量も多いが、止まれの標識がなく事故が多発している。改善策を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長